

ONESOURCE TRADE ANALYSIS

マニュアル作業
による貿易分析
のリスク

世界の国別・貿易ルート別の規制変更記録をマニュアル作業で管理・維持しようとする、膨大な時間とコストを要し、また様々なエラーが発生しやすくなります。時間のかかる規制データ分析に加え、今参照中のデータが正確で最新であることを確認する作業も必要です。このため企業の貿易部門では攻めの調達線略を導入しにくく、コンプライアンス違反を犯すリスクも抱えています。



ソリューション

合理的かつ積極的な貿易分析を実現する総合ソリューション

ONESOURCE™ Trade Analysisソリューションは、規制データの把握と分析のみならず、事業計画の策定やコスト削減機会の発掘にも役立つツールです。ソリューションを構成する3つの製品（Trade Lane Analyzer、Duty and Tax Analyzer、Tariff Analyzer）は、単独使用はもちろん、一体化することでさらに確かな実力を発揮します。

210を超える国と地域をカバーする高精度で最新のデータにアクセス可能。関税率、支払いコストの見積もり、複数の貿易ルートに関する仮想シナリオの可視化、新たな輸出入線略の策定などをワンストップで完了できます。

業務の生産性が向上され、サプライチェーンをめぐるコスト削減機会の発掘やコンプライアンス関連リスクのスピーディな警告、貿易ルートの最適化など、高付加価値の作業にかかる時間が減ります。



導入の利点

OneSource Trade Analysisソリューションの導入により

- 対応が必要なコンプライアンス・リスクを特定できます。
- より積極的かつ戦略的な意思決定が可能になります。
- 最新の規制データにアクセスして、確実なコンプライアンスを実行できます。
- 新たな省コストの実現機会を発掘できます。
- 関税の納期限延長制度を利用した場合の費用対効果を算出できます。



特徴

ONESOURCE Trade Analysisソリューションの特徴

- 210以上の国と地域のHS番号/詳細に英語と各国の母国語でアクセス
- 自社の取引ルートと世界のトレンドを比較してビジネスチャンスを発掘し、新たな輸出入戦略を導入
- 仮想シナリオを実行して、輸送ルートとコンプライアンス費用の最も効率的な組み合わせを選択
- 制裁措置の可能性、潜在的なカントリーリスク、腐敗認識指数に関する情報を考慮したリスク分析が可能
- 輸出入の取扱高を調べて未参入の市場を評価
- 原産地と目的地別のコスト分析を行い、もっとも戦略的かつ省コストの貿易ルートを決定

お問い合わせ

✉ marketingjp@tr.com

トムソン・ロイターについて

トムソン・ロイターはビジネスに有効な情報を”活用”できる形でお届けするリーディング企業です。法律xテクノロジー、税務・会計、輸出入管理、FTA、コンプライアンス管理業務に携わる専門家のため、世界で最もグローバルなメディアサービスであるロイターの情報と組み合わせ、専門性の高い情報をご提供しています。

詳しい情報は、thomsonreuters.jpをご覧ください。

